

今月号は、国の基本を成す最も重要な施策である「教育」、及び「文化活動」に関する課題や話題について取り上げます。

「教育」には、子供達一人一人の個性を尊重し、伸ばしていくことが求められています。

また、私達若男女全ての人々が、地域の伝統文化や外部の芸能・芸術に積極的に触れることにより、個々人の豊かな心の醸成と地域の活性化に繋がっていくものと思います。



今月号では、新潟県立阿賀野高等学校の特色ある教育課程やキャリア教育、市民による音楽を通じた国際的交流会事業計画のほか、皆さまから投稿頂いた貴重なご意見も紹介します。

まずは、新潟県の教育行政を理解するため、県が推進する「学校教育の重点」を示しておきます。

## 新潟県が推進する「学校教育の重点」

各学校では、学校の伝統や地域の環境を生かしながら、幼児児童生徒の「生きる力」の育成に努めることともに、学力向上や生徒指導上の諸課題等について、家庭や地域と信頼関係を構築し、地域の実情や課題を踏まえ、理解を得ながら教育を進めていくことが必要です。

ここでは、今後目指すひとつの姿「ふるさとへの愛着と誇りを胸に、粘り強く挑戦し未来を切り拓く、たくましいひとづくり」の実現に向けて、「地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり」を学校教育の中核に掲げ、次の重点事項など諸施策の充実を図ることとしています。

### 「学校教育の重点事項」

- 1「学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進」
- 2「豊かな心などをはぐくむ教育の推進」(道徳教育の充実)



- 3「いじめを見逃さない、いじめを許さない意識の醸成」(いじめ見逃しゼロスクールの推進)
- 4「健康でたくましい心身をはぐくむ教育の充実」
- 5「一人一人の教育的ニーズに応える特別教育の推進」
- 6「未来を切り拓く力を育てるキャリア教育の推進」  
特に、最後の「キャリア教育」に関しては、時代の変化に対応し、ふるさとへの愛着や誇り、未来を切り拓く力を育てるため、全校でキャリア教育を推進する体制を整え、地域や産業界と連携して、多様な人々の生き方を知り、様々な職業を体験しながら自らの生き方を考える学習を充実させることが重要であるとしています。

## みんなで考え、応援しよう。地元の高校!

### 新潟県立阿賀野高等学校の紹介

#### 「特色ある教育課程」

阿賀野高等学校の教育課程では、1年次は全員が共通科目を履修し、基礎学力の充実に努めています。

2・3年次は、「ライフデザインコース」と「アカデミックコース」の2つのコースに分かれています。

前者は、進学や就職を問わず、進路に応じて選択科目を履修することにより、個性や特技を育てて進路実現を目指すコースです。

後者は、大学等の進学を目指すコースで、文系と理系で学習内容を替えています。

#### 「キャリア教育」

阿賀野高等学校では、キャリア教育に力を入れていきます。昨年は、1年生約100名



新潟県立阿賀野高等学校



学校と地域との懇談会の状況

が地元企業の協力による意識啓蒙講演会に参加し、仕事に対する意識向上に役立てています。

2年生になると、地元企業へのインターンシップが5日間に渡って行われます。昨年は2年生62名が参加しました。5日間のインターンシップは県内の高校では最長であり、新潟県が示す学校教育の重点事項にも合致したものです。

このように阿賀野高等学校では、就職を希望する生徒にも、進学を希望する生徒にも、各々に適した特色ある教育課程とキャリア教育を用意し、生徒と保護者、及び地元企業の要望に添える素晴らしい取り組みを実践しています。

阿賀野高等学校について全市民で考え、応援しましょう。

市民の皆さまからの投稿
市民の力で若者の進学意欲に応えよう

いま、県立阿賀野高校の話
題が市民に広がりつつあります。

その背景は、新潟県教育委員会が平成28年3月に策定した「県立高校の将来構想」に示された適正な学校規模の考え方であり、1学年3学級以下の学校は、他校との統廃合を検討するとしてい

ます。阿賀野高校は平成二八年度から3学級募集となつて
いることから、高校の将来に不安を感じていることや、近年は少子化もあつて、生徒数が減少傾向にあることも、不安を大きくしているように思われます。

阿賀野高校は、阿賀野市にとつて唯一の公立高等学校として、長い歴史の中で、多くの優れた人材を輩出し、地域の発展に大きな貢献をしており、私も不安を抱く市民の一人です。

いま、阿賀野市の大きな課題は、将来予測として人口減少が進むことです。

この対策として、少子化の克服など、社会・経済自体を

変える取り組みなどが課題
と言えますが、これらの課題を克服するには、将来にわたつて人的資源を確保しなければならぬと考えています。

私が住む中島六自治会では、昨年の10月、阿賀野高校との懇談会を開催し、意見交換を行いました。

中学生を持つ母親から、「出来れば新発田市への通学ではなく、親の負担を軽減するためにも阿賀野高校へ入学させたい」と思っているが、学力にも関心を持っている。「との趣旨での意見があつた。」

水原駅から遠い住まいの方から、新発田市内への通学は、家族への負担が大きいため、苦労話を耳にします。

私は、地元の高校への進学を望む中学生を想うとき、阿賀野高校が、地元の中学生から魅力ある学校になり、中学生の多くが阿賀野高校への進学を希望してくれるようになれば、統廃合という事態は必ず回避できると考えて

います。

阿賀野市の未来を担う子供たちの学業向上心を失わせることのないよう、阿賀野高校の現状を共有し合いながら、市民の皆さんと学校が手を取り合つて、阿賀野高校の発展と市民の不安解消に努力したいと思っています。

我が自治会の小さな力が、市内の自治会へ広まり大きな力になることを期待し、不肖私の思いの一端を執筆し、勇気を奮つて投稿させていただきました。

加藤 有三

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

あがの国際交流音楽祭

4月15日(日)
午後3時~5時

出演者を募集しています
締め切りは3月15日(金)

後援
イタリア大使館
イタリア文化会館
阿賀野市&教育委員会

- 内定団体
●水原中学校 吹奏楽部
●新発田高校 ブラスバンド部
●阿賀野市内社会人バンド 1組

開場：午後2時30分
会場：水原総合体育館
入場料：無料

プログラム
3:00~4:00 各バンド演奏
4:00~4:30 ジャズ講座
4:30~5:00 ロザリオ実演
お問い合わせ：(株)研創
TEL.0250-68-3212



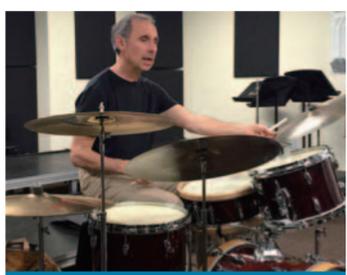
ロザリオ・ジュリアーニ・カルテット



ロザリオ・ジュリアーニ 《サクソ》



ルチアーノ・ピオンディーニ 《アコーディオン》



ジョー・ラ・バーベラ 《ドラムス》



金澤 英明 《ベース》

縁は異なるもの 味なもの

阿賀野市寺社に在住の羽田亨さんは、1982年亀田織物の北米市場開拓の販路開拓を目指し渡米。その際、ニューヨークで繊維専門商社に勤務の広浜尊久氏と出会う。
以後、アメリカ、香港を拠点にファッションビジネス、音楽等で活躍する同氏と35年にわたり交流を深めてきた。
今年4月に、東京・千葉・横浜等で、「ロザリオ・ジュリアーニ・カ

ルテット」ツアーの来日公演開催が決まっているが、新潟でもどうか？との相談を受ける。
これは絶好のチャンス。同じ新潟でも、人口4万の阿賀野市で開催できれば、その意義は大きい。
更に、中学校吹奏楽部等、子供の国際文化交流を含んだ企画とすれば社会教育の一環となるのではないかと、いうことで実行委員会を立ち上げました。全市民のご参加をお願いします。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

次回テーマは「地域医療」です。
特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
Mall:kenji@hokaken.jp